

平成30年度 鹿児島県広報コンクール

①作品名 ②掲載広報紙・掲載ページ ③担当課

■ 広報写真〈一枚写真〉部門

〈 特 選 〉



- ① 宇宙へつづく道
- ② 町報 やくしま（10月号）・表紙
- ③ 屋久島町 企画調整課

○ 講評

- ・写真でしか表現できないロケットの光跡で、インパクトのある写真となった。
- ・きちんと計算された撮影方法で読者の目を引く写真となっている。多少露出がオーバー気味か。あと一絞りアンダー方向でもよかった。
- ・キャプションとなる見出しも添えられ、読者の興味を引く表紙になったのではないか。
- ・種子島の島影から宇宙に飛び立つロケット。打ち上げる瞬間がよく分かる。
- ・カメラを固定して長い露光で打ち上げの光跡をうまく写している。

〈 入 選 〉

- ① 波乗りのプロフェッショナル
- ② 広報 きりしま（8月上旬号）
・16～17ページ
- ③ 霧島市 秘書広報課

○ 講評

- ・県内初のプロボディボーダーの競技の様子を的確に捉えた、躍動感あふれる1枚。波の動きや本人の動きを見ながら、何度もチャレンジした努力が実を結んだ。
- ・波しぶきがきちんと止まって見えるシャッタースピードを選択し、タイミングを見ながら何度もチャレンジした成果が出ている。背景も良い。
- ・メイン写真を見開きで配置し、迫力ある紙面となっている。
- ・打ち寄せる大波をバックに波乗りするサーファーをうまく写している。

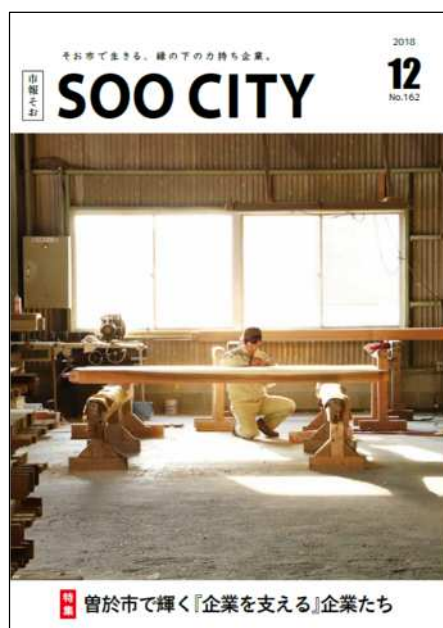


平成30年度 鹿児島県広報コンクール

①作品名 ②掲載広報紙・掲載ページ ③担当課

■ 広報写真〈一枚写真〉部門

〈 入 選 〉



- ① 黒子企業の従業員～陽のあたる場所で～
- ② 市報 ぞお SOO CITY (12月号)・表紙
- ③ 曾於市 企画課

○ 講評

- ・ 地元に根を下ろし、地道にこつこつと実績を積み上げている企業の様子をうまく切り取った1枚。何げない1カットだが、企業の姿勢や情熱を端的に伝えている。
- ・ 逆光での撮影だが、露出をうまく調整し、雰囲気ある作品に仕上げた。レンズの焦点距離や画角も考えられている。
- ・ 企画特集にマッチした1枚を見出しとともに表紙に大きく配置している。読者に「何の作業だろう」と興味を抱かせる印象的な表紙に仕上げられている。
- ・ 広い作業場で一人働く人。表紙としては、大胆な掲載。
- ・ こぼれ日の自然光での撮影がいい。

〈 入 選 〉

- ① はたちの喜び！JUMP！！
- ② 広報 いぶすき (2月号)・表紙
- ③ 指宿市 市長公室

○ 講評

- ・ 華やかに着飾った新成人のはつらつとした雰囲気が伝わる1枚となった。
- ・ 3人がジャンプする瞬間を高速シャッターでうまくとらえている。はじける3人の表情もいい。
- ・ 華やかな晴れ着の色使いとタイトル文字の色合いを合わせるなど、成人式らしい雰囲気に仕上がっている。
- ・ 成人式でのひとコマ、現代っ子らしく元気いっぱいの表情がいい。
- ・ 着物姿が鮮やかでいい。



平成30年度 鹿児島県広報コンクール

①作品名 ②掲載広報紙・掲載ページ ③担当課

■ 広報写真〈一枚写真〉部門

〈 入 選 〉



- ① ロケ地で見頃。秋空の下で列車とヒガンバナが共演。
- ② 広報 あくね（10月号）
- ③ 阿久根市 総務課

○講評

- ・ 秋の雰囲気と映画「かぞくいろ」のPRを意識した肥薩おれんじ鉄道の風景を絡め、読者の目を引くバランス良い表紙写真になっている。
- ・ ズームレンズの望遠側を効果的に使い、構図もうまく計算されている。
- ・ 広報・阿久根のタイトルが、写真の構図にうまく溶け込み、見栄えのいい表紙となっている。
- ・ 咲き乱れるヒガンバナ。バックの電車はもう少し近づいても良かった。
- ・ 花が鮮明に写し出されている。

〈 入 選 〉

- ① 老いてなお、今を楽しむ
- ② 広報 あいら AIRAview（9月号）・14ページ
- ③ 始良市 秘書広報課

○講評

- ・ 認知症を前向きに捉え、それを温かい気持ちで支える家族の様子が伝わる写真になっている。
- ・ 笑顔がこぼれた一瞬を上手にとらえている。支える家族の表情も柔和で、絆を感じられる写真に好感が持てる。
- ・ メインの写真を1ページで大きく使い、インパクトのある特集記事になっている。
- ・ 認知症の父に寄り添う娘、親子の心が通じた瞬間がいい。
- ・ 撮影者の感動が伝わる写真。



平成30年度 鹿児島県広報コンクール

①作品名 ②掲載広報紙・掲載ページ ③担当課

■ 広報写真〈組み写真〉部門

〈 特 選 〉



- ① 仕事百景 「菓子職人」
- ② 市報 そお S00 CITY (12月号)
・16～17ページ
- ③ 曾於市 企画課

○講評

- ・写真だけで全体のストーリーが見える作りに好感が持てる。記事と写真の割合がよく、目を引く作りになった。
- ・菓子を作る様子以外に、伝統ある道具や菓子のアップ、店構えなど、バランス良い絵作りは秀逸。ただ、絞りやシャッタースピードには変化がなく、絞り値などを変えながら撮影すれば、さらに深みある写真になるのでは。
- ・メインの写真を思い切った扱いにすることで、目を引き、引き締まった紙面となった。黒い背景も奏功している。キャプションのまとめ方もうまい。
- ・家族で伝統の和菓子作り、町に根をおろして店を守る職人の誇りを感じる。
- ・菓子を作る主人をメインに、古い菓子型、それぞれの作業がよく分かる。
- ・レイアウトもいい。

〈 入 選 〉



- ① 「命に感謝して頂く」魚屋の食育授業
- ② 広報 きりしま (3月上旬号)
・4～5ページ
- ③ 霧島市 秘書広報課

○講評

- ・食育活動に力を注ぐ女性らの熱意が写真から伝わる紙面となっている。
- ・女性の表情の切り取り方はよかった。高い位置から撮影したり、子どもの目線で撮影したりするなど、アングルに工夫が見られる。
- ・見開き上部の左右に写真を配置し目を引くレイアウトではあるが、狭い写真エリアに枚数を詰め込みすぎの感がある。写真の境目が分かりにくくなっており、見にくい。キャプションの配置はよかった。
- ・「食卓に魚を」と食育授業に活動するおかみが生き生きしている。
- ・朝のセリからそれぞれの作業を家族で支える姿をよく写している。